

感謝の教会生活

辻 喜男

今から 35、6 年前のサラリーマン時代、転勤で東京都町田市に家族と共に引っ越しました。大阪生まれ、大阪育ちで大阪を出たことのない者が、恐れと不安を抱えながら、夜行バスで眠れないまま東京に向かいました。

しかし、町田市は東京の郊外にありながら、新宿、渋谷、横浜への交通の便も良く、周囲の住環境も抜群でした。しかしクリスチャンとして最も大事なことは礼拝を守る教会を探すことです。町田市内にも多くの教会がありましたが、私たちは、町田市に隣接する神奈川県相模原市にある教会で礼拝を守ることにしました。大阪で知り合いであった方が、牧師として赴任して来られたこともあり、家族全員で毎週日曜日、相模原市の教会に通いました。そしてその教会に通うことで、私たちの家族にとって大きな変化が及ぶことになりました。

長男が、その教会の初代牧師であったブラジル宣教師からの招きに応じて、2年間ブラジルの日本語学校のお手伝いをしました。帰国後は外資系の企業に就職し、海外出張の多い日々を過ごしています。また長女は、同じ教会の礼拝に出席していた青年と結婚することになりました。そして、6人の孫たちが全員クリスチャンになったのは神様の恵みです。

しかしそれだけでなく、私自身が大きく人生の方向転換をすることになりました。48 歳の時、牧師への道が開かれ、勤務していた会社を退職し、三年間牧師養成の神学校で学びました。卒業後、51歳から牧師の働きを始め現在に至っています。会社を退職してからここまで、約 30 年、妻の支えがあったことは何よりの感謝です。

今年、その相模原市の教会から創立 50 周年記念感謝会の案内が届きました。出席はできなかったものの、改めてあの 40 歳代の時代を思い起こしながら、あの教会に通っていたことで、私たち家族が大きな祝福を受けるきっかけになったことを感謝しました。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」(使徒 16:31)